

## 2019年日本香港観光年 キャンペーンを実施中

### 香港政府観光局

2019年は「日本香港観光年」として、香港政府観光局では、日本からの旅行者の皆様には様々な特典をご用意しています。例えば、スカイ100香港展望台やオーシャンパークといった人気の観光施設では入場料金の割引、PMQ（元創方）やタイムズスクエア、ハーバーシティでは、割引や特典が受けられるクーポンブックなどをご用意しています。また、香港の40以上のホテルでは、宿泊者向けにレストラン、同行されるお子様向けの特典や割引があります。いずれも、香港政府観光局の公式ウェブサイトに掲載しています。

また、日本香港観光年を機に、タレントの藤森慎吾さんを「星級香港迷（スターホンコンマイ）」として任命させていただきました。藤森さんは、中学3年間を香港で過ごし、今も毎年ご友人と香港を訪れています。すでにテレビや雑誌、SNSなどで香港の魅力を広く伝えていただいています。秋には、藤森さんがおすすめする香港のプロモーション映像を公開し、キャンペーンを実施する予定ですので、公式ウェブサイトから是非ご覧ください。

今年、香港では、新しい観光スポットも登場しています。広東オペラやその他の中国伝統劇「戯曲」に気軽に触れられる施設として「戯曲センター」が西九龍地区に完成しました。中国の伝統的なランタンから発想を得た8階建ての建物には、大劇場、茶館劇場を始め、ショップやレストランがあります。なかでも茶館劇場での上演は、英語字幕つきの入門者向けの内容になっていて旅行者にもお勧めです。

また、ビクトリア・ハーバー沿いの「アベニュー・オブ・スターズ」も、3年間の改修工事を経てオープンしました。近隣の公園に移築されていたブルース・リーを含む4つの銅像も海辺に戻され、新しく華やかに生まれ変わったプロムナードを彩ります。

これからのベストシーズンは、イベントもおすすりです。10月31日～11月3日には、「香港ワイン&ダイン・フェスティバル」、11月には、グルメ月間「グレート・ノーベンバー・フィースト」が開催されます。さらに、12月には、光のイベント「香港パルス・ライト・フェスティバル」も開催を予定しています。2019年、「日本香港観光年」に是非、香港の旅をお楽しみください。



「星級香港迷」藤森慎吾さん

2019年9月発行（禁断断転載）

### 目次

2019年日本香港観光年 キャンペーンを実施中	1
2019年前期広東語教室 入門クラス増設で快調なスタート!	2
香港ブックフェアに過去最大規模のジャパンバビリオン	3
香港貿易発展局インターンシッププログラム、今夏も香港の大学生が参加	4
香港フォーラム2019プログラム	4
連合会・各協会便り	
東 京：横濱ドラゴンボートレース、日本香港協会「飛龍」チーム参加	5
第3回香港ビジネス座談会	5
関 西：アジアフォーラム2019参加報告	
若い会員を増やす新規事業として異業種交流会をスタート	
文化部懇親行事	6
中 京：歴史探訪（Ⅲ）愛知文化遺産との旅	7

九 州：訪日香港人観光客の福岡都都市圏以外への誘客の可能性について	8
山 形：山形日本香港協会春節イベント開催	9
北海道：香港総商会 経済ミッション歓迎レセプション	
北海道倶知安町で開催されるG20観光大臣会合	10
宮 城：令和元年度通常総会&記念セミナー、懇親会を開催	
アジアフォーラム2019に参加	11
沖 縄：香港=みやこ下地島空港間 香港エクスプレス就航	
香港ドラゴンボートレース 沖縄県選抜チーム参加	12
広 島：令和元年度通常総会・交流会開催	
会員向けアンケート調査の実施について	13
新 潟：香港と地方インバウンド	14
高 知：新体制発足1年を振り返って	15

## 2019年前期広東語教室 入門クラス増設で快調なスタート!

日本香港協会 広東語教室担当 ジャッキー鶴丸

当協会が運営する広東語教室は、開校時期はさだかではないがかなり古い歴史をもつ。現在は、入門から上級まで10クラス。1クラスは8名までの少人数制だ。各90分授業で、教室は高田馬場駅より徒歩3分の好立地。上級に至ってもやめずに通い続ける人が多いため、長らく初心者クラスを作れなかったのだが、2019年前期によく入門クラスを設置した。募集したとたん申込が殺到し、入門クラスは3つに増設した。生徒は当然のことだが、香港が好き、香港の映画スターが好きという人が多い。が、最近では香港に駐在することになった、仕事で行くようになったという理由で入学する人も増え始めた。

とくに広告も出していないのに口コミで広がり、友達に紹介されたといってお入ってくる人が多い。その要因は優れた講師陣にある。講師は現在2人。郭文灝(カク・マンホウ)先生と胡麗明(コニー・ウー)先生だ。

郭先生は香港大学時代から広東語の指導を行い、1997年来日。現在は日本の大学で教鞭をとる傍ら、当協会でも広東語を指導していただいている。郭先生は「まずは自分が楽しく教えているか。そして、生徒が楽しく学んでいるかが大事」という。教科書だけでは、つまらない授業になってしまう。生徒の様子を見てビデオや写真を取り入れ、それがきちんと効果を出しているか検証しながらすすめている。英語すら苦手な日本人が、発音や声調が難しい広東語を学ぶのはさらにハードルが高い。授業では聞き取れなかったり、言葉につまったりもよくあることだが、沈黙せずに「唔知(分かりません)」「唔記得(忘れました)」と返してほしいと郭先生は言う。「正解を求めるのではなく反応が欲しい。少しでも反応して、失敗を恐れず、勇気を出して話すことが上達につながります。香港に行った生徒が、現地で広東語が通じたと報告してくれたときは本当に嬉しい。やりがいを感じますね」。当教室で最も人気のクラスが「映画クラス」。香港映画が好きでセリフが聞き取れるようになりたいという人の集まりだ。夫婦で受講している根本徳久正江夫妻は、「教材(映画)が半年ぐらいで更新するので長く続けても飽きない。教室の雰囲気も楽しい」と話す。そして、なにより、長続きしているのは郭先生の人柄のお

かげだという。「質問を何度も繰り返しても嫌な顔一つせず笑顔で対応してくれる」と楽しげだ。

また、金曜クラスをうけつ胡麗明先生は、生徒からはコニー先生と親しまれている。夫の仕事の関係で来日したことが縁で、香港・日本で約30年近く、日本人に広東語を指導している大ベテランだ。当教室には2015年から指導いただいている。金曜の夜ならば遊びに行きたいところだが、このクラスも長く続いている。すでに基礎は終わって、テキストはコニー先生が選び、香港から取り寄せたものを使用。「広東語が難しいのは日本語にない発音や声調があるから。生徒の口の形を確認しながら教えています」。広東語のアクセントがイメージしやすいように工夫しているという。「なかなか答えが返ってこなくても辛抱強く教える、できたときは褒める」。生徒がやめずに長く続いているのは、こうした細かい気遣いがあることだ。

前期に設置された入門クラスは、前期後期と1年間のクラスのため、後期開始の入門クラスはない。だが、途中からの参加は可能。詳しくは当教室のホームページを参照してほしい。また2020年4月前期では、レベルに合わせてクラスを選択しやすいよう、再編成した講座となる予定だ。初めての試みとして特別講座を開講。見学(無料体験)も随時受け付けている。

### ■2019年前期クラス

- ①月曜中級クラス
- ②火曜隔週中級クラス
- ③火曜隔週入門クラス
- ④水曜隔週上級クラス
- ⑤水曜隔週入門クラス
- ⑥金曜日常会話中級クラス
- ⑦土曜映画クラス
- ⑧土曜広東語上級者向けクラス
- ⑨土曜隔週普通話学習経験者のための中級クラス
- ⑩土曜隔週入門クラス

後期クラスについては当教室ホームページ参照



楽しい映画クラス。左から3人目が郭先生



和気あいあいのコニー先生(左から3人め)クラス



## 香港ブックフェアに過去最大規模のジャパンパビリオン

香港貿易発展局 アシスタント・マーケティング・マネージャー 丸子 将太

香港貿易発展局は7月17日から23日までの7日間、書籍の大規模な見本市『香港ブックフェア』を、午前10時から最長深夜零時まで、香港コンベンション&エキシビジョンセンターで開催しました。ジャパンパビリオン（日本館）は出展数、面積ともに過去最大規模となり、昨年以上に多くの来場者が訪れました。同パビリオンの設立は今年が6回目ということもあり、在香港日本国総領事館、日本政府観光局（JNTO）、一般社団法人アニメツーリズム協会をはじめとした政府機関や業界団体の他、地方自治体や小売り、鉄道、空港などのさまざまな企業が出展するなど、例年以上にバラエティーに富んだ専門館に仕上がりました。

香港の地元客が毎年延べ100万人近く来場するビッグイベントということもあり、日本の関係者の間では近年、『香港ブックフェア』はインバウンド（訪日外国人）誘致のプロモーションを行う上で最適なプラットフォームとの定評が固まりつつあります。このため、従来の書籍や文房具といった主力の物販に加え、文化コンテンツや観光資源、日本ならではの生活に触れる「コト消費」をPRする総合的な見本市へと変貌しつつあります。中でも浴衣の着付けや、イラスト・マンガ教室、日本文化を伝えるワークショップ等の体験型プロモーション活動は、各地域・地方の魅力を直接来場者に伝えることができ、出展者にとり格好のダイレクトマーケティングとなります。

### ——出展者ハイライト

◆今回が初出展の東京国際空港（羽田空港）は、同空港に加え、国内の他空港についてもプロモーションを行いました。展示ブースでは記念撮影コーナーや、もれなく景品があたるイベントなどを実施し、連日行列ができる程のにぎわいをみせました。

◆今年7月に香港で初出店を果たし、数時間待ちの行列が社会現象にもなったディスカウントストア「ドン・キホーテ」は今年も連続出展し、自社店舗の宣伝に加え、メーカー各社からのサンプル品の配布や、最新家電をかけたダーツゲームを行いました。今年初めて会場内のステージでイベントも開催し、お祭りムードを盛り上げました。

◆自治体では、今年が初出展となった富山県および長野県が、香港を代表する食通として名高い紀曉華（ウォルター・ケイ）さんによる「富山・長野セミナー」を行いました。



両県のグルメや観光スポット等について香港人向けに講演を行い、来場者の注目を集めました。

◆ジャパンパビリオン最大の展示ブースであるアニメツーリズム協会は、自治体や企業各社の出展スペースも設け、最新版「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」の紹介、アニメ聖地巡礼にちなんだ旅行商品の販売、VR（仮想現実）体験の他、マンガを描く体験やかつおぶし削り体験など、魅力的なワークショップも行いました。

◆JNTOは新しいプロモーションテーマ「日本 總有再去的理由（日本にはいつももう一度訪れる理由がある）」を踏まえたプロモーションを展開し、日本の伝統工芸品に触れるワークショップや、ブース内ステージで各地域の観光紹介セミナー等も行いました。



会期中には、「告白」などの作品で知られるベストセラー作家・湊かなえさんの講演会も開催され、香港のメディアで活躍し日本文化にも精通しているKengo氏がモデレーターを務め、創作の秘密に迫りました。定員を大幅超過する参加申し込みが集まったため、急きょ別会場でライブ中継する形で香港の皆さまに肉声が届けられました。

『香港ブックフェア』公式サイト（英語）

[www.hkbookfair.com](http://www.hkbookfair.com)

## 香港貿易發展局インターンシッププログラム、今夏も香港の大学生が参加

香港貿易發展局 コーポレート・コミュニケーション&マーケティング・マネージャー 米岡 哲志

香港貿易發展局では2014年以降、毎年夏に2~4週間のインターンシップ受け入れを行っています。日本でのインターンシップは人気があり、1人の選考に当たり毎年5~10人を面接しています。最初のインターン生は卒業後すぐに大手会計事務所の東京オフィスに就職が決まる快挙を遂げました。2015年からは弊局大阪事務所でもインターン生を受け入れるようになりました。大阪事務所でのインターンシップを経験後、弊局に入局し、現在活躍している元学生もいます。

2019年も東京事務所で香港中文大学、大阪事務所でも香港恒生大学の学生が各1名、インターン生として勤務しました。以下、東京事務所で7月後半から3週間勤務した中文大3年生で、日本研究専攻の林穎兒（ユミ）さんに話を聞きました。

**中文大のインターンシップ制度とは**—— 学部の2年生以上から参加することができます。香港内外の企業や機関でのさまざまなインターンシップがパブリックメールで学生に通知され、その中から自分の興味・関心に基づいて応募します。夏休み期間中のインターンが多いです。わたしも2年生の時に兵庫県の香港事務所にて3カ月、インターン生として勤務したことがありました。

**貿易發展局に応募した理由は**—— 日本研究や日本語を専攻しているので、香港と日本の懸け橋になるような仕事に興味がありました。2018年9月から東京外国語大学に留学し、ビジネス日本語を含む複数の科目を履修しました。その途中で、今回の募集を知り、応募してみました。

**それまで日本での仕事経験は**—— 短期のアルバイトとして「フードテック・ジャパン（国際食品・飲料展）」の総合受付で多言語対応をしたことがありますが、インターンは初めてです。ちょうど2019年7月で授業が終わり、折よく今回のインターンに参加することができました。

**印象に残ったお仕事は**—— 東京のスタートアップ企業との商談に当たり、香港のクラフトビール市場についてリサーチするよう言われました。日本語での資料作成や

お客様先でのプレゼンも経験しました。少し緊張しましたが、日本の方に香港のことを自ら伝えることができ、達成感がありました。また、日本の食品関連産業の香港への進出事情についても調べる機会がありました。例えば、香港では数年前から抹茶が流行っています。自分も一消費者として香港で抹茶を使った飲食品を買ったことがあり、おいしいなと思いました。それが今回、いろいろと調べていて、日本からの抹茶の輸出で香港が米国に次ぐ2位であることを知りました。そういう風に食品業界の視点で考えたことがなかったので新鮮でした。また、貿易發展局が9月に開催するファッションイベント「センターステージ」をPRするメディアレセプションにも参加しました。こうしたPRイベントへの参加は初めてでした。ゲストスピーカーとして登壇した日本の百貨店バイヤーさんが、香港のファッション事情を紹介し、それを記者の方々が真剣に聞いている様子を目にしました。また、そのバイヤーの方が、香港のイチ押しとして、本当にローカルなB級グルメである「牛腩米粉（ガウナムマイファン）」のことを絶賛しているのを見て、何だかとてもうれしくなりました。



メディアレセプションで受付に立つユミさん（中央）

**日本香港協会について**—— 当初はこうした組織があることを知りませんでした。日本と香港の交流を深める上でとてもよいネットワークだと思いました。ビジネスなどの堅苦しいことばかりでなく、広東語教室のような活動もされていて素晴らしいと思います。日本に留学している香港の学生には、横のつながりがありません。寂しい思いをしている留学生もいるかもしれないので、香港協会の活動にかかわることができれば、双方にプラスになるのではないのでしょうか。わたし自身も、日本と香港の交流に何らかの形で貢献できるようにがんばりたいと思います。

### 香港フォーラム2019プログラム

開催日時：2019年12月3日（火）4日（水）  
 会場：香港コンベンション&エキシビション・センター  
 オプションプログラム：東莞市、仏山市サイドトリップ



世界34カ国・地域に跨る45の香港ビジネス協会から成る香港ビジネス協会世界連盟（Federation of Hongkong Business Associations Worldwide）の全メンバーが一堂に会する香港フォーラムが今年も開催されます。また香港フォーラムに先だち毎年恒例の「全国協会交流会」も開催。年に一度の交流会には、毎年110名以上の会員が参加しています。会員のみが参加できる貴重な世界大会ですので、ぜひご参加ください。





## 日本香港協会 文化交流副委員長 小川 英郎

### 横濱ドラゴンボートレース、日本香港協会「飛龍」チーム参加

毎年6月2日、開港記念日前後の週末土日に2週に渡って行われる横濱ドラゴンボートレース。横浜市を中心にNPO法人横濱国際ドラゴンボート協会が主催、日本香港協会も協賛する大会で今年26回目の開催となりました。

4日間のレースで今年は史上最多の188チームが参加。「横浜市長杯」をはじめ5つの冠レースがあり、当協会の飛龍チームは6月9日の午後「香港カップ」にチャレンジしました。

もともと横濱ドラゴンボートレースは、1994年第13回横浜どんたく開港祭（現在の横浜開港祭）のマリンイベントとして、香港よりドラゴンボート6艇を横浜に移送し第1回を開催したもの。その、ご本家ともいえる香港のドラゴンボートは、今から2000年以上も前に、人々から信頼の厚かった屈原が入水自殺を図ったときに、民衆が先を争って船を出し、屈原の亡骸が魚に襲われないよう太鼓の音で魚を追い払いながら彼を探しまわったという故事に由来します。屈原が入水したのが旧暦5月5日（端午節）ということもあり、毎年この時期に沙田やビクトリア・ハーバーほか各地でレースが開催されるようになりました。今や、香港のみならず、アジア、アメリカ、ヨーロッパと、グローバル化されています。

6月9日の当日はあいにくの曇天。前日の夏日とは



日本香港協会「飛龍」チーム

打って変わって、気温も15度と低く、寒い中の参戦となりました。ドラゴンボートは、先頭の鼓手と末尾の舵取りに挟まれ、漕ぎ手は18人で構成されます。レースのコースは、山下公園海上で、大さん橋側より水川丸側へ260mの距離をうちかかる波しぶきにも負けずに漕ぎ競います。今年の「飛龍チーム」には、当協会佐藤副会長の親子孫3代、5人のファミリーチームが加わり、うち3人が小学生でした。その3人が素晴らしい漕ぎっぷりで果敢に挑みました。また漕ぐリズムをつくる鼓手には初参加の女子大学生ルナさんが担当。父が香港人、母が日本人という彼女は小さいときからカンファー太鼓など習っており、今回も日本と香港の文化の橋渡しになればという思いで参加しました。

しかし、本番のレースでは寒いうえに風も強く、ボートには風にあおられた波がかかり、船内はたちまち水浸しに。中央の漕ぎ手が備え付けのボウルで海水を掻き出しますが、全員びしょ濡れになりました。レースは2回。小学生はかなり疲れたのはではないかと心配し、声をかけましたが、返ってきた答えは「来年も漕ぎたい!」。タイムや成績はともかく、横濱ドラゴンボートは当協会にとって、会員やファミリーにより思い出となるイベントには違いありません。そして、お楽しみの打ち上げ。横浜中華街加賀警察署前の香港家庭料理屋「美楽一杯」でいただく香港風釜めしの味は格別でした。

最後に、イベント参加にあたり、協力してくれた広東語教室の郭先生や生徒さんたち、協賛企業に感謝を申し上げます。



レース終了後。お揃いのTシャツで撮影

## 日本香港協会理事 野島 威

### 第3回香港ビジネス座談会

5月27日18時から、今回は日本香港協会会員のリュウ・シリンさんのご紹介でマカオのポルトガル料理のお店 CASA DE SOUZA 浜町店で催されました。20名募集の予定でしたが25名もお集まり頂き会場のレストランは満杯となり皆様に窮屈な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。

最初に参加された皆様の自己紹介から始まり、それぞれの方が携わっているお仕事や香港との結びつき等をお話され一気に皆様が打ち解け合いました。初参加の方も

られ直ぐに輪の中に溶け込んで頂きました。私も YKK の方や明治フードマテリアの方などと香港時代の話や業界の話など盛りだくさんの話で時間を経つのも忘れるぐらいでした。最後は席を立てて相互に名刺交換や歓談される方も多く、あっという間に2時間が過ぎてしまいました。

今回参加された皆様ならびに協会の理事の皆様有難うございました。残念ながらポルトガルのワインをお出し出来なかったこと深くお詫びします。次回は又新しい趣向で開催したいと思っておりますのでご期待ください。



## 関西日本香港協会 理事 山本 辰久

### アジアフォーラム2019参加報告

香港ビジネス世界連盟の年次イベント、アジアフォーラムに参加してきました。HKBAV（ベトナム香港ビジネス連盟）が、素晴らしい「おもてなし精神」を発揮され、若いベトナムの活気を大いに感じさせられました。

ベトナムは、まだまだ成長余力があるとともに、環境問題への取り組みも進めながら、IoT等より高度な領域への展開を見据えており、目が離せません。来年の開催地は未定ですが、大変素晴らしい経験になります。また、日本の存在感を少しでも示すためにも、今後、より多くの方々の参加を心から期待しています。

(日時) 2019年5月8日(水)～5月10日(金)

(会場) ベトナム・ホーチミン市都心部 ホテル「レヴェリーサイゴン」

(出席国・協会) ベトナム、シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、関西（田岡理事、山本理事）、宮城（高橋事務局次長）、韓国、カンボジア

(参考リンク) [https://www.hkbav.org/asia-forum-2019\\_event735](https://www.hkbav.org/asia-forum-2019_event735)

**【5/8(水) 夕刻】 ウェルカム・ディナー**

超高層コンドミニアム建設が進む地区のレセプション施設に100名以上が参加の前夜祭。

**【5/9(木) 終日】**

会場のレヴェリーサイゴンは、ベトナム唯一の「6つ星ホテル」。その豪華な雰囲気の中、ベトナムの成長ぶりを大いに感じるお話ばかりでした。

(1) 朝食セミナー：「ベトナム経済の概要」(駐香港ベトナム総領事、現地弁護士ら)

(2) 昼食セミナー：「香港がベトナムに果たす役割」(地元企業幹部ら)

(3) 年次ミーティング (各国・協会代表が参加)

①各国・協会の活動報告

高橋氏から宮城協会について、また山本は関西協会・日本全体の活動を報告しました。

②若手の育成について意見交換

各国の共通課題である若手会員獲得に関して、セミナー開催等の取り組みを共有しつつ、デニス・チュー世界連盟会長よりインターンシップ・プログラム構想が提案されました。各国の若手に相互の企業でのインターンを通じて経験を積んでもらうというもので、我が国の若手会員も関われば、と強く感じます。

(4) フェアウェル・ディナー

古民家バー“Temple Club”のカジュアルな雰囲気中で、ベトナム協会の活気を感じました。

**【5/10(金) 午前中】 現地工業団地視察**

早朝よりチャーターバスで、ダイワハウス現地法人が開発するものを含む、近郊3か所の工業団地を視察しました。



Asia Forum2019

## 関西日本香港協会 事務局

### 若い会員を増やす新規事業として 異業種交流会をスタート

関西日本香港協会の今年の活動テーマは、“Young and Ladies”です。

協会の将来的発展のために活躍している若手経営者と女性会員の獲得を目的に異業種交流会をスタートさせました。若者に人気のレストラン“LAWRY'S THE PRIME RIB”で昼食交流会を3月7日と6月13日に開催し、延べ37名が参加し好評でした。昼食会では香港の魅力や発展する中国華南の様子、協会と香港貿易発展局の活動内容を説明し、活躍中の協会役員と積極的に交流してもらいました。今後に期待大です。

### 文化部懇親行事

文化部の会員懇親行事として劇団四季「リトルマーメイド」の観劇会を5月14日に実施し、25名が参加し、素晴らしい音楽と舞台演出に感動した有意義な懇親行事になりました。



劇団四季「リトルマーメイド」観劇会





中京日本香港協会 事務局長 佐藤 亮一

## 歴史探訪（Ⅲ）愛知文化遺産との旅

名古屋は、市内を流れる新堀川、堀川や中川運河など、河川を利用した水上輸送とともに発展してきた。今回、当協会の令和初の会員親睦会として、梅雨入り前の6月8日(土)に舟遊びを開催した。これまでも、名古屋城、岐阜城、清洲城などをめぐる「歴史探訪」として文化財遺産を紹介してきた。今回は32名の参加者とともに、あらためて新堀川、堀川、中川運河を始めとする河川を愛知県遺産として見直す経験となった。

堀川は江戸時代初期に建築資材運搬用運河として開削されたのがルーツ。さらに名古屋港と旧国鉄貨物駅を結ぶ運河として中川運河が作られた。いずれの河川・運河も物流の大動脈として名古屋の近代化産業発展に大きく貢献した。近年ではその役目を果たした感がある。トラック輸送の発達とともに廃れ、水質の悪化や廃棄物の増加を招き、現在ロータリークラブ、ライオンズクラブなど市民団体が浚渫作業に努力されている。

一方で堀川は、春は花見など屋形船が運航される憩いの場へと姿を変えつつある。川沿いには、名古屋城築城とともに清洲から都市が移転した、いわゆる「清洲越し」の商家の土蔵や、運河機能を支えた松重閘門など歴史遺産が現存している。また中川運河は、2011年の芸術イベント「キャナルアート」をはじめ、水上スポーツの場や芸術イベントの会場として親しまれている

愛知が誇るデザイン都市「ナゴヤ」をアピールするためには、キャナルアートや屋形船、夜景が美しいセントレアデッキなど、魅力あるスポットの開発が待たれる。そして、将来に向けての都市化イノベーションをすすめる「新たな公（こう）」が必要だ。



日本近代遺産50選に選ばれている松重閘門



昼・夜それぞれの眺めが楽しめる中川運河の水上バス

現在、中部・北陸を龍に見立てた観光ルート「昇龍道」のPRにより香港からの来訪客が増えてはいるが、東京、大阪、京都の上位に対し、全国8位と低迷している。名古屋の都市基盤を活かした海外からの呼び込み、海外から選ばれるためのさらなる「価値」の創生など、関心事は尽きない。

## 日本香港協会全国連合会

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4 トラスティ麹町ビル6階  
香港貿易発展局 東京事務所内  
電話 (03) 5210-5901 FAX (03) 5210-5860

NPO法人日本香港協会（東京） 電話 (03) 5210-5870  
〒102-0083 千代田区麹町3-4 トラスティ麹町ビル6階  
香港貿易発展局内

関西日本香港協会 電話 (06) 4705-7030  
〒541-0052 大阪市中央区安土町2-3-13 大阪国際ビルディング10階  
香港貿易発展局内

中京日本香港協会 電話 (050) 3620-2517  
〒460-0003 名古屋市中区錦2-11-27 TH錦ビル8階 株式会社喜喜齋内

九州日本香港協会 電話 (092) 451-8610  
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2丁目9-28 会議所ビル1階  
地域企業連合会 九州連携機構内

山形日本香港協会 電話 (023) 665-1310  
〒990-2301 山形市蔵王温泉丈二田752-2  
ユニテ蔵王ジョーニダ・リゾート内

北海道日本香港協会 電話 (011) 261-4288  
〒060-8661 札幌市中央区大通西3-7 北洋銀行国際部内

宮城日本香港協会 電話 (022) 226-7025  
〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-5 第三志ら梅ビル2階西  
(株)Sola.com内

沖縄日本香港協会 電話 (098) 8686-3758  
〒900-0033 那覇市久米2-2-10 那覇商工会議所内

広島日本香港協会 電話 (082) 248-1400  
〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ3階  
(公財)ひろしま産業振興機構 国際ビジネス支援センター内

新潟日本香港協会 電話 (025) 365-0001  
〒951-8065 新潟市中央区東堀通一番町494-3 2階 (愛宕商事株式会社内)

高知日本香港協会 電話 (088) 855-9570  
〒780-0842 高知市追手筋2-6-9 大手門ビル3階西  
株式会社オトル内

URL <http://www.jhks.gr.jp>



福岡県香港事務所長 山崎 智幸

## 訪日香港人観光客の福岡都市圏以外への誘客の可能性について

### 1. 訪日香港人観光客の現状

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、2018年に日本を訪問した香港人は約217万人。国・地域別では韓国、中国（クルーズ客除く）、台湾に次ぐ4位であるが、香港の人口は約734万人であるため、約3人に1人が日本を訪問したことになる。主な来訪目的は観光が92.9%と最も高く、85.6%がリピーターである。訪日外国人の一人当たりの旅行支出額は、オーストラリアが242,041円（平均泊数13.3泊）と最も高く、香港は154,581円（平均泊数6.3泊）であるが、1泊あたりの消費額で見ると香港は24,537円であり、オーストラリアの18,199円を大きく上回っている。現在、福岡と香港は毎日5便の直行便<sup>\*1</sup>で結ばれており、新しい物好きで旅慣れた旅行者が多い香港は、今後インバウンドへの取り組みを考えている市町村や地方企業にとって、有望な市場のひとつと思われる。そこで今回は、福岡県香港事務所の情報発信ツールである繁体字版フェイスブック（FB）の分析結果を踏まえつつ、福岡県内各地域への更なる香港人観光客の誘客の可能性について考えてみたい。

### 2. インバウンド誘客に向けた取り組み

当事務所FBのフォロワー数は6.6万人（6月末現在）で、地域別では香港5.2万人、台湾0.7万人、マカオ0.3万人と続く。海の中道海浜公園や能古島などの開花情報や、花火大会や牡蠣小屋など、旬でタイムリーな投稿は3~4万近いリーチ数となっている。当事務所がPR活動を展開する上で着目しているデータはフォロワーの性別と年齢層である。福岡に関心が高い当事務所FBフォロワーの大きな特徴は、25~44歳の女性が全体の50%を占める点にある。このフォロワーの属性を踏まえ、昨年10月と本年5月、20~30代の女性をターゲットに、女子旅がテーマのセミナーを2回開催した。日本に対する関心と情報発信力が高い女性が会員である香港ロリータ協会と共催し、福岡のグルメや観光スポットに加え、ロリータ愛好家が好みそうな門司港レトロなどの福岡県内の撮影スポットを紹介した。セミナーの様子は、参加者自身のSNSやブログでの発信に加えて、ユニークな取り組みとしてYahoo! ニュースに転載されるなど注目を



福岡女子旅セミナー



福岡親子旅セミナー

集めた<sup>\*2</sup>。また、年齢層で見ると35~44歳が37%を占めているため、30~40代のファミリー世代をターゲットに設定し、香港エクスプレス航空の機内番組で、親子旅をテーマにした福岡の旅番組を昨年11月に制作。本年3月には、その番組を元に福岡親子旅セミナーを開催した。当事務所FBの募集を見て参加申し込みがあった香港人約80名に対して、番組ナビゲーターを務めた香港の著名ラジオDJが福岡県内の親子旅スポットを紹介した。

### 3. 福岡都市圏以外への誘客の可能性

ここ数年多くの市町村や地方企業がインバウンドへの取り組みをはじめているが、観光情報が溢れる中で、ターゲットとなる顧客に地方の魅力を伝えることは容易ではない。しかし香港人はレンタカーやレールパスを駆使して、外国人観光客には知られてない郊外の観光地や、ホテル観賞など自然豊かな田舎まで足を運ぶため、福岡都市圏以外の市町村や地方企業にとっても誘客の可能性はあると考えている。当事務所では、現地メディアと連携した情報発信にも力を入れており、本年3月には、香港エクスプレス航空と女子旅をテーマにファミツアー<sup>\*3</sup>を実施。主要メディア6社が北九州地域を中心に取材を行い、3月にリニューアルオープンした小倉城や門司港駅などが大々的に掲載された。また、香港最大手の旅行雑誌であるU MAGAZINE社と福岡特集の取材を行い、平成筑豊鉄道のことこと列車、田川市伊田商店街のシャッターアート、筑後市の恋木神社など、香港人の興味をそそる県内各地のディープスポットが紹介された。この様に香港人はまだ有名でない観光地に対しても関心を持ってくれる可能性が高いため、今後インバウンドへの取り組みを考えている市町村や地方企業にとっても、有望な市場のひとつと考えられる。

\*1 キャセイドラゴン航空が2便、香港エクスプレス航空が3便（月・水除く）就航（6月末時点）

\*2 [https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190514-00000002-nna\\_kyodo-cn](https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190514-00000002-nna_kyodo-cn)

\*3 観光客の誘致促進のため、ターゲットとする国や地域のメディアなどに現地を視察してもらうツアー





## 山形日本香港協会 事務局

## 山形日本香港協会春節イベント開催

去る2019年2月23日(土)、ホテルメトロポリタン山形を会場に、山形日本香港協会の総会及び理事会、春節セミナー及びパーティーが開催されました。当協会は、2017年2月に再設立され、再設立後としては2回目の春節イベントを迎えることとなりました。

総会及び理事会では、香港貿易発展局の伊東正裕東京事務所長にもオブザーバーとしてご参加いただき、前年度の活動及び会計、そして今年度の活動計画と予算が多くの方の会員の参加のもとで承認されました。また、当協会の大沼みずほ会長より、会員へ日頃の香港との間の活動への御礼と、山形県と香港との間のさらなる関係強化へ努めていただけるようにとのご挨拶がありました。

総会の後半では、当協会の会員でもあります、リンベル株式会社の東海林秀典社長より、会社の取り組みについて、会員にご紹介をいただきました。リンベル株式会社は、カタログギフトの企画・製作・販売、一般商品の開発・販売などを中心に事業を展開されています。同社では、「山形の極み」シリーズという、山形県産の果実や日本酒、精肉などを一冊のカタログにまとめ、香港をはじめ海外に展開しているとの紹介がありました。

総会及び理事会後には、引き続き、春節セミナー及び春節パーティーが開催されました。今年度は、会員と一般の参加者を含め、80名以上の方々に参加をいただきました。参加者の中には、山形県の各市町村の首長の方々、県議会議員や市議会議員、JA関係者、ホテル・旅館の関係者、さらに海外との取引にかかる法務を専門としている弁護士の方にも、参加をいただきました。

そして、会の開催にあたり、当協会の特別顧問を務めている吉村美栄子山形県知事より、お祝いのメッセージを頂戴し、参加者に紹介をさせていただきました。吉村県知事からは、山形県と香港との間における、山形県産品の輸出及びインバウンドは増加傾向にあり、これから山形県としても更に香港との関係強化に向けて、より



リンベル株式会社東海林社長

いっそう注力をしていくとの、力強い言葉をいただきました。

また、今回の春節セミナーの基調講演の講師として、全国農業協同組合連合会輸出対策部の上野一彦部長をお招きし、「JAグループ輸出拡大の取り組みについて ～香港市場の魅力と全農グループの輸出事業～」と題して、貴重なお話をいただきました。実際に、JAで香港への輸出の政策を担当されている上野部長からは、実体験と的確な市場分析に基づいた、香港への輸出拡大の取り組み方法や香港の一般消費者の生活習慣や行動について話があり、参加者は一様に大きな関心を持って聞き聞いていた様子でした。

今年の春節イベントでも、多数の参加をいただき、山形県の香港への関心の高さをうかがうことができました。最近のテレビや新聞の報道では、逃亡犯条例の制定によるストライキや暴動のニュースで香港を目にする機会が多い状況であります。これも現在の香港の状況のひとつの側面なのでしょうが、それ以上に多くの魅力を持った国際都市であることに変わりはありません。我々山形日本香港協会としても、引き続き、山形県及び日本と香港の結びつきを強めるために、一丸となって取り組んで参ります。



香港貿易発展局東京事務所伊東所長



全国農業協同組合連合会輸出対策部上野部長



## 香港総商会 経済ミッション 歓迎レセプション

6月3日から7日にかけて、香港総商会が投資視察を目的とした経済ミッションで来道されました。香港総商会は1861年創設の香港で最も歴史がある最大規模の経済団体で、会員数は約4,000企業・団体に及びます。

ミッション初日には経済産業省、北海道、日本貿易振興機構（ジェトロ）主催のレセプションが札幌で開催され、道内経済団体、関係自治体の皆さまが出席するなか、北海道日本香港協会からは安齋副会長が参加しました。

レセプションでは、主催者を代表して北海道の鈴木知事が挨拶されたのにつき、香港総商会を代表してアジア・アフリカ委員会委員長のベザッド・ミルザイ様が挨拶され、その後両名での記念品交換、参加者全員での記念撮影が行われました。

会場には室蘭市、道南の江差町、神恵内村の各市町村の紹介コーナーが設置されるとともに、青山室蘭市長、照井江差町長、高橋神恵内村長が、香港から参加された皆さまに投資誘致に向け取り組みをアピールされ、参加者の皆さまが和やかな雰囲気の中で交流されていました。最後は、北海道日本香港協会の安齋副会長の、香港での経験を交えた挨拶で閉会となりました。

引き続き当協会では、香港と北海道の経済、文化交流促進に取り組んでまいります。



挨拶をする安齋副会長

## 北海道倶知安町で開催される G20 観光大臣会合

6月28日から29日に大阪で開催されたG20首脳会合は、テレビ等で連日大きく報道されていましたが、北海道倶知安町では10月25日から26日にG20観光大臣会合が開催されます。

この会合は、首脳会合にあわせて全国各地で開催され



2030年度に新幹線駅の開業が予定されている倶知安駅

る閣僚会合の一つで、会場となるニセコ HANAZONO リゾートは、香港の通信大手PCCW傘下の不動産開発会社、パシフィック・センチュリー・プレミアム・ディベロップメントの子会社である日本ハーモニー・リゾート株式会社が運営しており、来年1月開業予定の Park Hyatt Niseko Hanazono Residencesで注目されているリゾート施設です。

北海道には、涼しく快適なサマーシーズンだけでなく、ウインターシーズンに海外からスキーやスノーボードなどのウインタースポーツを楽しみに数多くの観光客が訪れます。特にパウダースノーが有名な倶知安・ニセコエリアには、ウインターシーズンに数多くの旅行客が海外から訪れており、日本人を探すのが難しいほどです。2030年度の新幹線駅開業や北海道横断自動車道の開通などにより、今後益々発展が期待されるこのエリアには、香港、シンガポール、マレーシア、オーストラリアなど、様々な国からの投資で、ホテルやコンドミニアム建設、リゾート開発が進んでいます。

今年の冬は、日本に居ながら海外のリゾートの気分を味わえる倶知安・ニセコで過ごしてみても如何でしょうか？



建設が進む Park Hyatt Niseko Hanazono Residences





## 宮城日本香港協会 事務局

## 令和元年度通常総会 &amp; 記念セミナー、懇親会を開催

5月27日(月)17:00からパレスへいあん6階「ソレイユホール」において、令和元年度通常総会&記念セミナーを開催致しました。来賓として宮城県経済商工観光部長鈴木秀人氏にご出席頂き、52名(委任状出席を含む)出席のもと行われました。小野寺会長挨拶、鈴木部長による宮城県知事の祝辞代読の後、議事に入り、大坪代表理事の議事進行により、第1号議案から第3号議案まで、満場一致で可決・承認されました。

続く記念セミナーにおいては、プロダクトリング株式会社代表取締役山本洋士氏による「次世代自動販売機を通じた地元産品の香港展開について」と題した講演がありました。同氏は、アメリカ留学を経て帰国後、同社を設立、「農業を通じて人と人との繋がりを築きホンモノの価値とご縁を社会に提供することで地域社会の発展と豊かさに貢献する」を経営理念に、食品輸出・販売・貿易や海外輸出コンサルティングなどの仕事に従事されています。氏曰く「40軒もの支店を閉めて自動販売機を活用したビジネスモードへ転換した人、90%のコストが減少した人、1日の売り上げが2,000香港ドル(日本円約27,600円/1台)に達する日もあった人など、自動販売機はこれから更に普及していく可能性がある」と。自動販売機は、今や香港のみならず中国市場までの進出も実現しています。

終了後、5階の「エトワールホール」に移動しての懇親会、佐藤副会長(株式会社JTB仙台支店事業推進担当部長)の挨拶のあと、郡仙台市長に代わって出席された仙台市経済局国際経済室長佐藤克行氏、香港貿易發展局東京事務所長伊東正裕氏が登壇、香港の素晴らしさ、香港との交流の重要性などを織り交ぜながら挨拶されま



みやぎおかみ会阿部憲子会長による乾杯のご発声

した。そして、みやぎおかみ会会長阿部憲子氏の乾杯で幕を開け、懇談となりました。今年のアトラクションは仙台で教室を開き活躍されているマリimba奏者・加藤詢子氏。仙台・苫小牧・名古屋を結ぶ太平洋フェリーで長年洋上演奏し、豊かな音楽性と多彩なレパートリーで多くのファンを楽しませてきました。そんな演奏に会場の参加者もつい聞き入ってしまいました。

香港との交流を通して宮城の発展の一翼を担うべく、事業を展開してまいりますので、会員の皆様のより一層の御支援をお願いいたします。

## アジアフォーラム2019に参加

香港ベトナムビジネス協会(HKBAV)主催のアジアフォーラム2019が5月8日~10日の3日間にわたりベトナムホーチミンにて開催され、日本からは3名が参加いたしました。各地のアジア協会メンバーと懇親を深め、また今後の香港ビジネス協会世界連盟の取り組み強化として各地域間の若手人材の交流促進について、活発な意見交換が行われ、非常に有意義な3日間となりました。



アジアフォーラム 会議終了後各地域代表が記念の一枚に



## 沖縄日本香港協会 事務局

### 香港＝みやこ下地島空港間 香港エクスプレス就航

みやこ下地島空港ターミナルに2019年7月19日、香港を拠点とする格安航空会社、香港エクスプレスによる香港＝下地島路線が就航しました。本路線は宮古圏域に就航する初めての国際定期便となります。

就航当日は香港から到着した初便および旅客をウォーターアーチで迎えたほか、到着棟出口では観光協会の会員をはじめとした関係者で歓迎、またチェックインカウンターがあるエリアでは航空会社主催によるテープカットが行われ、沖縄県観光文化スポーツ部観光政策統括官渡嘉敷道夫氏、宮古市長下地敏彦氏による祝辞の後、就航を記念した特別運賃が発表され、式典を盛り上げました。香港エクスプレスは、2019年7月19日より、香港＝下地島路線を毎週火・金・日の週3便運航します。

同ターミナルは三菱地所とともに沖縄県や宮古島市、沖縄観光コンベンションビューロー、宮古島観光協会と連携し、官民一体で航空路線の誘致に取り組んでおり、下地島空港には今回の香港路線のほか、ジェットスター・ジャパンによる東京（成田）、大阪（関西）路線が就航しています。2021年度までに年間利用客数30万人を目指し、内外の交流人口拡大により地域活性化が期待されます。

下地島空港は、キーコンセプトを「空港から、リゾート、はじまる。」と掲げ、空港利用者や航空会社の視点に立った施設づくりに取り組んでいます。空港に到着した瞬間にリゾート体験の始まりを感じてもらえるよう、豊かな緑や自然の光を取り込み、航空機への搭乗直前まで利用者がくつろげる空間を演出します。国際線を受け入れる専用施設を設け、スムーズな入国・出国動線を確保する等、利用者の動線を意識した設計となっており、使い勝手の良さを追求しています。

下地島空港と香港の直行便の就航により、香港の皆様新たに沖縄の離島の魅力を手軽に体験していただけるものと期待されます。



初便で到着した香港からの乗客（写真提供：香港エクスプレス航空）



空港ターミナルでのテープカット（写真提供：香港エクスプレス航空）

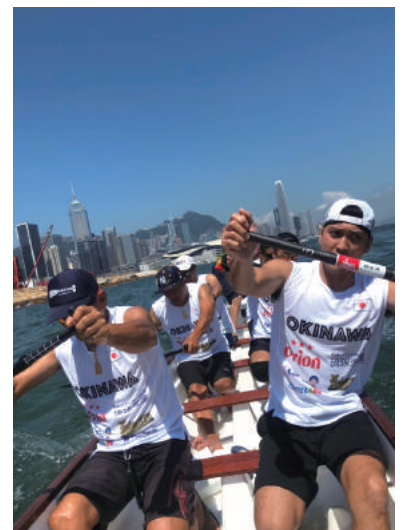
### 香港ドラゴンボートレース 沖縄県選抜チーム参加



沖縄選抜チームと香港チームとの交流

沖縄県内各地で行われる「ハーリー（爬竜船）」は夏の到来を告げる風物詩となっています。ハーリーのルーツであるドラゴンボートレースの国際大会である「香港ドラゴンボートカーニバル」に向けて、県内各地のハーリーチームから選抜された「沖縄龍船」チームが結成されました。沖縄日本香港協会は、協賛企業の協力を行いました。県の選抜チームはリズムをとる「かね打ち」と方向を調整する「舵取り」を含む20名で構成されており、こぎ手の呼吸合わせはハーリー以上に難しいとのこと。

残念ながらドラゴンボートカーニバルは、諸般の事情により開催されませんでした。香港入りしたチームと香港の地元チームで交流レース及び懇親会が開催されました。ルーツを同じくする競技・スポーツを通じて沖縄と香港の交流が進み、意義ある香港訪問となりました。沖縄県選抜チームは、「来年の出場に向けて、練習を行っていきたい」と意気込みを語りました。



ビクトリアハーバーでの操船





## 広島日本香港協会 事務局

### 令和元年度通常総会・交流会開催

8月8日に、令和元年度通常総会・交流会をオリエンタルホテル広島にて開催しました。今年は天気にも恵まれ、総会・交流会を無事終えることができました。

#### 1. 令和元年度総会

冒頭、広島日本香港協会の深山英樹会長から、「昨年度の当総会は、豪雨災害により、開催時期を1か月延期



いたしました。災害から1年経過しておりますが、被災地では、まだ多くの方がご苦労をされており、復旧、復興は道半ばです。また、現在の日本をとりまく経済情勢は、数々の不透明要因があり、今後の日本経済への影響を懸念しております。このような情勢の中、協会の事業活動を通じて、協会会員様と香港とのつながりを支援していきたい」とのご挨拶がありました。

続いて、香港貿易発展局大阪事務所のサミュエル・チェン所長から、「広島協会が設立され9年となりました。香港と広島との関わりは設立当初と比べて大きく前進し、香港から広島県を訪れた外国人の数は、2011年約3,000人であったのが、2017年には48倍の14万7,000人に達し、人的交流が大きく拡大しました。今後、中国の国家プロジェクトである香港・広東の巨大経済圏グレーターベイエリア『粤港澳大湾区』構想の実現とともに、更なる香港の発展と益々の広島とのビジネス展開における連携を深めていきたい」とのご挨拶をいただきました。

その後、平成30年度事業報告・決算報告、令和元年度事業計画・予算案などの議題について審議し満場一致で承認され、閉会いたしました。

#### 2. 交流会

総会に引き続き、交流会が行われました。

交流会では、広島日本香港協会の神津善三郎副会長から挨拶があり、来賓の香港貿易発展局の方と会員の皆様が発言に懇話し交流を深めました。



交流のなかで、「広島は自動車関連の企業が多くある。香港でこういった企業が活躍できる場や情報があれば一

番いい」、「香港の言葉である広東語を多くの方に広めたい」などのご意見があり、多くの会員は香港が好きで、香港とのビジネス交流や人的交流など、更なる関係強化を図りたいとの思いに触れる機会となりました。

### 会員向けアンケート調査の実施について

広島日本香港協会では、より効果的な協会運営を図るため、協会会員向けにアンケート調査を実施しました。アンケート結果の概要についてご紹介させていただきます。(65会員のうち32会員が回答)

#### 1. 海外展開の実施

回答企業の約8割が既に海外展開を行っており、香港においても約5割の企業が海外展開を行っております。

#### 2. 希望する事業内容

会員が希望する事業として、「セミナーの開催」が一番多く、次いで「香港企業との商談会の実施」となりました。

◆セミナーのテーマについては、「観光インバウンドビジネス」が一番多い結果となりました。広島県を訪れた外国人観光客は約275万人(2018年)となっており、前年と比べ32万人増加し、7年連続して過去最高を更新していることに加え、今後も「ゴールデン・スポーツ・イヤーズ」の到来といわれるように、今年から3か年にわたって行われる、「ラグビーワールドカップ2019」や、「2020年東京オリンピック・パラリンピック」また、再来年の大阪で開催される、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」により、外国人観光客の増加が今まで以上に見込まれるためと推測しております。

次いで、「香港の経済動向」や、「海外企業とのビジネス連携方法」についてのテーマに対する要望が多く、現地での取組や、海外進出時における成功事例や失敗事例など、現地の生の情報や、香港の活用事例などを求める意見もありました。

◆商談会の実施については、当会員の約3割が食品関係事業であるということもあり、食品・酒類、旅行業など、香港企業との商談を希望するという結果となりました。

以上の結果をもとに、今年度は、香港とのビジネス交流事業として「香港食品バイヤーとの商談会」を、また、香港から広島に来られる訪日客の受け入れによるビジネス拡大を目指して「香港インバウンドビジネスセミナー」を、開催することとしております。

広島協会の事業目的は「香港との相互理解と友好を促進し、もって経済の交流に資する」としており、日頃から会員の声に耳を傾け、会員の皆様の役に立つ事業を計画し実施してまいりたいと考えております。

# NIIGATA

新潟日本香港協会



新潟日本香港協会 事務局長 田中 湖雄

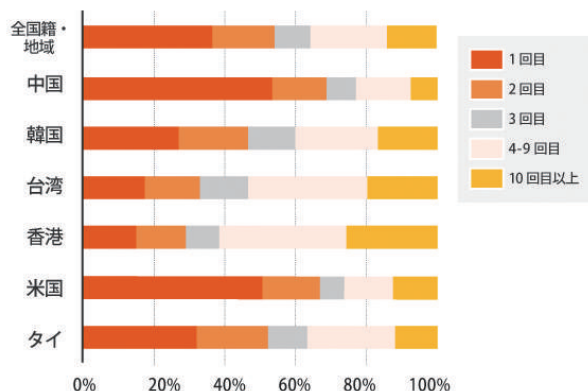
## 香港と地方インバウンド

新潟県のインバウンドにおける外国人宿泊者数は昨年2018年に40万人泊を超え、伸び率では全国3位でした。しかしながら新潟県はインバウンドにおいては後進県で、まだまだ伸び代のある魅力ある県の一つだと思います。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、また政府の方針や安定した為替レートなどの要因もあり、日本へのインバウンドはこの数年順調に伸びてきています。その波はゴールデンルートといわれる東京、富士山、京都、大阪等を中心とするところから、北海道や沖縄などを先頭に各地方へも広がってきています。

香港の人口は748万人(2018年12月時点)ですが、2018年に香港からの訪日者数は人口の約30%で220万7,900人でした。そしてその全体の80%がリピーターであり、なんとその上4回以上の訪日者が50%を超えるそうです。

### ▶ 訪日外国人の来訪回数



出典:観光庁 訪日外国人動向・訪日外国人動向調査2017年10-12月期

やまごころ.jp

香港からのリピーターが群を抜いて第1位

旅行形態はFITと呼ばれる個人旅行が90%を占めます。都道府県別では1位が大阪府、2位が東京都、3位が千葉県、4位が京都府、5位が沖縄県だそうです。興味を持つことは花見、グルメ、夏祭り、花火大会、温泉、買い物、日本ブランド、アウトレットなどで、訪日香港人旅行者の消費額は2018年には3,355億円に達したそうです。

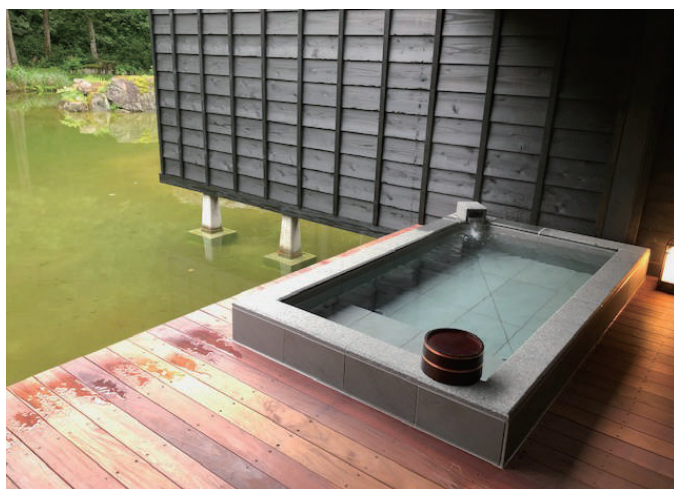
さてここで新潟の話題を二つほど。一つめは、ついに新潟にも香港との直行便が就航します。香港のキャセイパシフィック航空の子会社、キャセイドラゴン航空がこの10月30日から水曜日と土曜日の週2回往復運航することが決まり、先日正式に発表されました。まずは2020年3月28日までの5カ月間の季節定期便からですが、冬の新潟の魅力の評価していただいたようです。通年運航に出来るよう新潟日本香港協会としても協力していこうと思います。今年の香港フォーラムにはこの便を利用して行けそうです。

二つめは、日本一といわれる魚沼産コシヒカリでも有

名な地域、新潟県魚沼地区の六日町温泉にある新潟県を代表する旅館の一つである「龍言」が「ryugon」としてリニューアルプレオープンしました。この旅館はもともと武家屋敷などを移築し、また大きな池を擁した庭で人気を博していて、最近では外国人旅行者の間でも人気が高まりつつあります。私が以前宿泊した時には香港からの若いカップルも宿泊していました。おそらく海外からのお客様を更に呼び込もうという狙いもあってのリニューアルかと思います。和のテイストを強く残しながらも、ベッドやオーダーメイドの家具を取り入れ、洋のエッセンスもある心地よい空間が生まれていました。これは空間ばかりではなく食事にも活かされています。

訪日香港人旅行者の最近のキーワードは「禁煙」「ベッド」「客室露天風呂」そして地元の旬の食材を食べることのようですが、それらを見事に具現化しています。香港だけでなく、きっと広く国内外に評判になる宿となることでしょう。

ぜひ魅力ある新潟県に皆さまもお越しください。



龍言の客室露天風呂



龍言の渡り廊下から見た庭園





## 高知日本香港協会 事務局長 横山 公大

## 新体制発足1年を振り返って

令和元年、気持ちも新たに高知日本香港協会もスタートいたしました。森本会長体制となり早くも一年が経ちました。この一年精力的に活動をし、会員数も倍増しております。その一年を振り返ってみたいと思います。会員拡大の成果には、以下の3つが大きな要因になったと思われる。

## ◆会員拡大に向けて

- 1 香港セミナーの開催
- 2 香港ビジネスツアーの開催
- 3 アワード獲得に向けてのチャレンジ

## 1. 香港セミナーの開催について

高知県は海外を結ぶ航空定期便がなく、高知県民にとって海外や外国人に触れる機会というのは全国に比べても非常に低い現状があります。実際に貿易やインバウンド等で繋がる産業や業種で働く方は、ビジネスを通じた関係性があり身近に感じているようですが、そうではない方にとってはなかなか触れる機会がありません。

そういった中、如何に海外、アジアを知ってもらうか。そこはやはり生の情報を当事者から伝えるという事が大切であります。この一年、当協会森本麻紀会長の海外出店という生の情報、また実際に香港でビジネスを展開されている方を講師としてお招きし、新鮮な情報を聞くことができ、また講師ご本人に直接いろんな質問ができるという機会は、多くの方の関心を引き寄せる事ができました。併せて講師の方にとっては高知の魅力を感じることができ、高知のファンに繋がるという相乗効果も生まれています。

## 2. 香港ビジネスツアーの開催

この一年で3回の香港ビジネスツアーを開催いたしました。

香港セミナーで、香港に興味を持った会員、またセミナー参加者を対象に、香港ビジネスマッチングツアーを開催。現地で実際に売られているメイドイン高知の商品視察や、インバウンドを通じたビジネスセールス等をマッチングし、目に見える結果を出した企業や個人もでており、それらが更にアジアへの興味、また



セミナー風景（森本会長によるツアー報告）

チャレンジしたいと思う気持ち等も含め、会員拡大に繋がっている要因といえます。

また2019年2月に開催したセ



香港ビジネスマッチングツアーでの懇談会

ミナーでの講師、

楊さちこ先生には、大変お忙しい中、香港現地でいろいろなアテンドをいただき、ツアー参加者の満足度は非常に高く、更に香港への興味を深める結果となっております。

## 3. アワード獲得に向けてのチャレンジ

2018年12月に開催されました香港フォーラム2018において、森本会長がSuccess Story Awardを受賞しました。海外への定期便のない高知において、海外でビジネスをしていくのは並大抵の事ではありませんが、それでもチャレンジをする事で道が開け、またその道に多くのチャレンジャーが後を追ってくるのは世の常でもあります。今回のアワード受賞は、高知の若手経営者にとって、大きな勇気と可能性を感じるものとなりました。会長が率先垂範していく姿勢もまた高知の会員拡大の要因となっているのは間違いありません。今後も様々なアワードにチャレンジをして参ります。

以上が高知日本香港協会、この一年の大きな枠での活動です。その結果現在実数で60会員を超えており、行政からは高知県副知事、高知市副市長、また県議会議員にも顧問として携わっていただき、成果と合わせて会の厚みも増しているところです。今年度は80会員を目指し活動を進めて参ります。

また何度かのツアーを重ねる事で、香港の食に対する意識の高さ、誇りの高さを感じております。特に現地で食べた火鍋の味に感動した会員も多く、会員の店舗でもある居酒屋駱駝様のご協力のもと、何とか高知の方にも火鍋を食べてもらいたいと研究を重ね、食事会も開催いたしました。結果、大好評をいただき、現在各メディアの取材問い合わせが相次いでいるところです。

## ◆今後の予定

2019年10月、今年度2回目の香港ビジネスマッチングツアーの開催、また12月の香港フォーラムに合わせてビジネスマッチングツアーを企画しております。事務局長会議では全国の事例を参考にさせていただき、今後の活動に繋げて参ります。



## 1 時間、3 時間、5 時間で 東京を散策する

限られた自由な時間内で、あなただったら、何をしますか？

**StayInspired.jp** では、東京に“出逢う”ことができる、他にはない洗練されたプランをご提案しています。

CONRAD  
HOTELS & RESORTS\*

NEVER JUST STAY. STAY INSPIRED.  
コンラッドに滞在すること。その街に出逢うこと。

ASIA EUROPE AFRICA MIDDLE EAST AMERICAS  
CONRADTOKYO.COM #STAYINSPIRED